

セルフPOSをリリースへ

光和コンピューター

出版

光和コンピューターは書店向けにセルフPOSレジを開発し、6月のリリースに向け準備を進めている。人件費の削減や、働き方改革によって現場の労力を軽減するなどの必要に迫られている書店の要望に対応する。

書店の働き方改革など要望に対応

をPOSレジと接続し、クレジットカード、PAY決済、FeliCa系決済に対応することができる。

POSハードウェアはメーカーを選ばず対応を予定しており、現金決済用にグローリー製の釣銭機を標準仕様とする。

フルセルフの場合は「StarPAY」のQR決済に対応しており、クレジット決済については決済会社ごとに対応を予定している。

特徴として、TOPメニューで通常のPOSレジとして利用するのかセルフPOSレジとして利用するのかを選択できるため、セルフPOSレジ専用のハードを用意しなくても初期導入コストを抑えてセルフPOSレジを導入できる。

同社は出版社向けの基幹システムとともに、書店に向けてレジシステム「KPOS」、バックヤードシステム「Book Answerシリーズ」、書籍検索システム「PiTSPOT」で構成する店舗トータルシステムを提供している。書店でセルフレジ導入の希望が増えていることに対応してセルフPOSレジを開発する。

キャッシュレス決済への対応は、セミセルフ仕様の場合、同社が決済端末として推奨している「PAYGATE Station」

問合せは光和コンピューター流通ソリューション事業部・若井・多田、電話03(3865)1982。